＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	春陽の家
グループの名称	三春町住宅研究会
直近採択グループ番号	04-0076-0149

（グループ代表者）

代表者名	宗形　一夫　代表者印
代表者所属先	株式会社宗形工務店
代表者所在地	福島県田村郡三春町鷹巣字水上146
代表者電話番号	02-4762-7677

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社ツボイ
事務局担当者名	金川　将太　印
事務局郵便番号	963-8041
事務局所在地	福島県郡山市富田町字諏訪西50
事務局電話番号	02-4966-0301
事務局FAX	02-4952-2944
事務局担当者E-mail	kabutuboi9320301@nifty.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	春陽の家
２．グループの名称(必須)	三春町住宅研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0076-0149
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	福島県
５．結成年(必須)	1983　年
６．グループ代表者名(必須)	宗形　一夫
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社宗形工務店
８．グループ代表者所在地(必須)	福島県田村郡三春町鷹巣字水上146
９．グループ代表者電話番号(必須)	02-4762-7677
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ツボイ
１１．グループ事務局担当者名(必須)	金川　将太
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	963-8041
１３．グループ事務局所在地(必須)	福島県郡山市富田町字諏訪西50
１４．グループ事務局電話番号(必須)	02-4966-0301
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	02-4952-2944
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	kabutuboi9320301@nifty.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	1	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	4	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		7	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	7	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟
			0	㎡
		申請が未確定	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	着工の早い順に配分していく。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	4	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
13	Ⅰ － 7	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30-13	03-5857-5225
7	Ⅰ － 8	田村森林組合		963-4603	福島県田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
13	Ⅱ － 7	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30-13	03-5857-5225
7	Ⅱ － 8	田村森林組合		963-4603	福島県田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
7	Ⅲ － 9	株式会社 ツボイ		963-8041	福島県郡山市富田町字諏訪西50	024-966-0301
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
7	Ⅳ － 9	株式会社 ツボイ		963-8041	福島県郡山市富田町字諏訪西50	024-966-0301
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
7	Ｖ － 1	株式会社　宗形工務店		963-7725	福島県田村郡三春町大字鷹巣字水上１４６番地	0247-62-7677	○	
7	Ｖ － 6	株式会社菊地住建設計事務所		963-7701	福島県田村郡三春町実沢字樋ノ入４２－３	0247-62-3509	○	
7	Ｖ － 11	結建築研究室		963-7741	福島県田村郡三春町八島台7-5-13	0247-62-1775	○	
7	Ｖ － 12	テーアンドエー		963-7749	福島県田村郡三春町一本松195-12	0247-62-5794	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							5	○	○
7	Ⅵ － 1	60818	株式会社 宗形工務店		963-7725	福島県田村郡三春町大字鷹巣字水上146番地	0247-62-7677	○	
7	Ⅵ － 2	60710	株式会社 菊地住建		963-7701	福島県田村郡三春町実沢字樋ノ入42－3	0247-62-3509	○	
7	Ⅵ － 3	60687	株式会社 渡伝組		963-7711	福島県田村郡三春町桜ヶ丘三丁目1番地の3	0247-62-3018	○	
7	Ⅵ － 4	60765	有限会社 サワケン住宅		963-7782	福島県田村郡三春町大字富沢字楢梨池頭66番地	0247-62-3175	○	
7	Ⅵ － 5	60949	有限会社 ワタショウ		963-7731	福島県田村郡三春町大字下舞木字石田250-1	024-956-2775	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

<様式 2-2・Ⅵ-2>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
7	Ⅵ － 1	60818	株式会社 宗形工務店	8 戸	6 戸	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○	○	○	
7	Ⅵ － 2	60710	株式会社 菊地住建	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡			○	○	
7	Ⅵ － 3	60687	株式会社 渡伝組	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
7	Ⅵ － 4	60765	有限会社 サワケン住宅	4 戸	1 戸	4 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
7	Ⅵ － 5	60949	有限会社 ワタショウ	4 戸	3 戸	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○		○	○	
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅶ. 木材を扱わない流通

<様式 2-2・Ⅶ>

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
7	Ⅶ － 10	株式会社 スミ建		963-8041	福島県郡山市富田町字諏訪西70	024-962-9850
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）春陽の家	（地域型住宅供給対象地域）福島県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）三春町住宅研究会	（結成年）1983　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0076-0149	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	三春町の特徴でもある、城下町の景観を考慮した設計をし、機能的には、長期優良住宅や認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅の性能をいずれか取り入れた地域型住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	東日本大震災の教訓を生かし、地盤調査の結果による基礎設計とバランスの良い構造設計とする。また、日本の伝統技術でもある、在来軸組み工法でも、特に耐震性には留意した住宅とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏暑く、冬は降雪はあまりないが、風が強い地域の気候を考慮した設計、デザインとする。森林の多い地域での建築が多い為、地域の景観に配慮し、木材を内観、外観共に使用し、木質感を表現できるデザインを意識した住宅とする。	◎
④ ①～③の背景	東日本大震災の避難者が多く非難している三春町である為、仮設住宅や狭小住宅での生活を目の当たりにしている。住宅業界に特化しているグループ員全員が、更なる家づくりの向上とは何かを常に追求し続け、使命感をもって復興に取り組みたいと考えている。地域の風土にあった、現代の住宅を住まう方々に広くご提供していきたい。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：基本的に、在来軸組み工法の尺寸法を採用し、県産材をふんだんに使用する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：三春住宅研究会が取得している個別型式認定に則るのを基本とするが、住まい手の希望を重要視した住宅を第一優先とする。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造体力上主要な部分において、1/2以上を地域材・合法木材を使用する。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ内構成員より資材供給を原則とし、定例会にて情報の共有を行い、資材調達の共同化や事務の合理化を図る。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：事務局をプレカット業者が担うことにより、建材・資材調達のバランスを管理し、随時、グループ員への情報を告知する事により合理化を図る。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：定期的に行われている定例会にて、グループ構成員の各業者の資材の流れや住宅着工の見通しを共有化し、スムーズな生産体制を構成できるように努める。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：プレカット業者が事務局を行う事により、早い段階での着工の情報、資材の調達状況を把握する事が可能となり、需給のバランスを把握して、グループ構成員へ都度連絡を行う任務を担う。	◎
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：構成員の中には、県立の専門学校、職業訓練校などの講師が数人おり、技術的にも信頼を得ている。そういった技術者を中心に、施工基準の確認を構成員相互の現場にて行う。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：建築基準法に則った家づくりになっているか、そして、施工に関して細部までの配慮がなされているかを検査ルールとし、構成員相互の現場にて確認を行う。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：グループ内の生産体制を利用し、材料に関しての仕入れの統一化、施工手間に関しての統一化の情報共有を定例会にて行う。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：地域コミュニティイベントにグループとして参加し、家づくりについての情報を地域の方々にご提供していく。また、完成現場の見学会等を行う事により、実物件にてこれからの住まい手が確認しやすいイベントを企画する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）春陽の家	（地域型住宅供給対象地域）福島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）三春町住宅研究会	（結成年）1983　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0076-0149	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	グループ構成員それぞれが持っている顧客名簿の管理をしっかり行う。また、顧客管理支援システム＜住宅履歴の図書館＞の活用を推進し、当システムのサービス項目、管理・通知・点検・報告・共有・蓄積の充実を図る。	◎
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：維持管理表の作成とそれに則った定期訪問の実施。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない　■ ある → 内容：顧客管理支援システム＜住宅履歴の図書館＞の活用を推進。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない　■ ある → 内容：各社データにて保存	◎
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：年に1回以上の訪問を実施し、メンテナンス・リフォーム箇所が無いかのヒヤリングを実施する。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：グループ内で、メンテナンスについての情報交換を図る。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない　■ ある → 内容：年1回以上のヒヤリングを行い確認する。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：地域コミュニティイベントを開催する事により、家づくりについての相談会を開催する。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない　■ ある → 内容：地域コミュニティイベントを開催し、建て方実演、木工教室を行い、家づくりのノウハウ伝えていく。	◎
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない　■ ある → 内容：地域コミュニティイベントを開催し、住まいの相談ブース設け、地域の方々の相談に乗る。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない　■ ある → 内容：事務局を中心とした維持管理検討委員会を設置する。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	□ ない　■ ある → 内容：定例会にて各構成員が維持管理に関する情報を公開する。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない　■ ある → 内容：維持管理の継続が困難になった場合、グループ員全員でのバックアップを必須とする。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：定例会で、瑕疵の実例を発表し、グループ全体で原因を追究し、今後の改善点を話し合う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない　■ ある → 内容：定期的に行われる定例会にて、経験工務店が、未経験工務店に取り組みのポイントを教える。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：定例会にて、品質管理について情報交換し、向上を図る。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない　■ ある → 内容：定例会にて、各社報告をする。	◎
	③-1 需給計画の策定	□ ない　■ ある → 内容：定例会にて、需給のバランスの確認をし、計画する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない　■ ある → 内容：定期的に行われる定例会にて、机上だけでなく現場にても行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない　■ ある → 内容：グループ構成員は、自社の加工工場など公開をする。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　10　今年度の参加目標人数　3	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　5　今年度の参加目標人数　3	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない　■ ある → 内容：事務局が講習日を連絡する	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない　■ ある → 内容：ゼロ・エネルギー住宅、認定低炭素住宅にも、グループ内の経験工務店が指導をする。	◎
	② 新たな技術等の開発	□ ない　■ ある → 内容：性能向上計画認定住宅にも取り組んでいく	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）春陽の家	（地域型住宅供給対象地域）福島県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）三春町住宅研究会	（結成年）1983 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0076-0149	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台、柱、梁、桁、小屋組、斜材等、構造耐力上主要な部分の1/2以上を地域・合法木材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材 土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材 枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材 壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	原木供給業者・製材業者⇒プレカット業者・建材流通業(木材取り扱う業者)⇒現場納入　となり、原木供給と製材、プレカットと建材流通を同会社にすることにより供給をスムーズにする。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：当事業の事務局をプレカット工場が行うことにより、在庫の把握をし、バランス調整をする。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：グループ構成員の中での調達なため、共通となる。（季節変動あり）	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：定例会にて需給予測の報告をする。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）　6 枚	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　4 枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）　2 枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：自然豊かな風土と歴史を重んじ、羽目板等を率先して使用していく。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：大工技術の伝承も含めて、自社大工による手作りの棚等作成する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：福島県の建築大工の技術は比較的高く、この伝統を後継者に継承するために若年技術者育成にグループ全員で取り組む。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：東北地方ならではの寒さ対策に、伝統技術の伝承と共に、現代の利便性の良い省エネルギーな住宅づくりを定例会にて常に話し合っていく。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：住まい手が心休まる街並みを形成するための配慮ある外観にする。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：「木」をふんだんに使用し、温かみのある「和」を意識できる内観とする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災の被災地でもある福島県は、現段階でも復興がまだまだ進んでいない。これを考慮し、住宅業界に属する使命を全うし、市資材供給の簡素化や施工技術の向上による工期の短縮に取り組み、被災者の方々に出来るだけ多くの復興住宅をご提供していきたい。また、福島県の発注となる復興住宅にも着手が今年度予定されている。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）春陽の家	（地域型住宅供給対象地域）福島県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）三春町住宅研究会	（結成年）1983 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0076-0149	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

大工技術者集団としての高いレベル意識を持ち、「福幸の家」をテーマに、まだまだ需要のある復興住宅等に対し、将来を見据えた低炭素・自立循環型住宅・社会の実現にも貢献していく。

認定低炭素住宅についての取り組みとして、トイレは節水型、給湯器は高効率の物、バスルームやキッチンの水栓も節水型を使用し、省エネルギー性の高いものを採用する。

ゼロ・エネルギー住宅についての取り組みは、グループ全体で今年度は斡旋していく。また未経験工務店が経験する事により、グループ全体の住宅の性能に対する意識のレベルアップとなり、省エネルギーに寄与する形となる。太陽光、通風等にも注力を置き、高気密・高断熱と併せて、ネットゼロを実現した地域型住宅とする。また、全棟計算により、Ua値・Mc値・Mh値を算出し、省エネシュミレーション、採光・採風シュミレーションを行い、建てる前からのどれくらいの光熱費で生活できるかを住まい手に提案する。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。